

編集・発行責任者；木下耕一 〒157-0066 東京都世田谷区成城 8-24-1 - A-201
Fax&Tel 03 - 3482 - 5257 / E-Mail ; kino-coh1@amy.hi-ho.ne.jp

『餅つきの日』に参加しました。

かたつむりの今年最初の

イベント、餅つき交流会が
一月二十四日行われた。

あいにく午前中から小雨
が降りだしたものの、腹一
杯『食える』イベントと
あって仲間もボラもみなヤ
ル気満々、寒さを吹き飛ば
して百八キロの餅をつき
食べ、大いに楽しんだ。

【前日準備のこと】

前日は九時半に作業所に
集合。国分寺市社会福祉協
議会を通じてお願いして
あった個人のお宅から臼と
杵を貸していただくため職
員の山城さんとハイエース
で国分寺市内を回った。

作業所では、職員の鈴木

嶺さんが、ボラの最終調整
にきていて舞いしている。

仲間＆ボラ総勢百六十名を
超える参加者の最終確認や
担当をやりくりするのは容

易でない。

午後は、立川ろう学校で
会場のセッティング。モチ
米を蒸すための竈(かまど)
をセツトし、臼・杵を洗い
所定の位置に据え、受付の
机を二階の音楽室から運
ぶ、なるほど重労働だ。作
業所裏に山積みになった薪
を運ぶのも大変だった。

女性職員と何人かの親&

ボラは、ひたすらモチ米を
とぐ。いつぱんにたくさん
はつけないので予め二キロ
単位で鍋に分ける。もち米
の入ったお鍋が廊下にな
らつと並び、夕方五時前
にはなんとか作業終了。

【当日の準備】

当日は、七時半立川ろう
学校集合。天候が心配なた
め釜の上に雨避けのブルー
シートを張り、それからよ
うやく竈に火をつける。長

沼先生(杉並ろう学校教諭)

に教わり、なんとか火がつ
き、いよいよモチ米を蒸
す。そして餅つき。あとは
当日参加のボラにお任せ。

【片付け】

テントや竈の撤収、机等
の返却もさることながら、
雨の中、余った薪をまた元
の場所に運ぶ。ずぶ濡れ&
泥だらけになった。

【自分が役に立つ喜び】

長々と準備の様子を書い
た。自慢したい訳では、も
ちろんない。実は、薪を運
ぶ車の中で世田谷の雪安さ
んから「何が貴方をかたつ
むりのボラに駆り立てるの
か？」と尋ねられ、ふと考
えたことは「僕にも手伝え
ることがこんなに沢山あつ
たことが嬉しかった。だか
ら、かたつむりは夢中にな
れる」その中身を書いた。

新聞スクラップ

0121 NHK速報

障害者の防災行動マニュアルま
とまる 東京都

大地震が起きたときに障害者
の安全を確保するために東京都
が作成を進めていた、視覚や聴
覚などの障害に応じた防災行動
マニュアルが、きょう開かれた
検討委員会できまりました。
この防災行動マニュアルは、
障害者や家族の意見や要望を聞
いたうえで障害者団体の代表や
学識経験者からなる検討委員会
が作成を進めていたもので、
きょう開かれた検討委員会でき
まりました。

マニュアルは、視覚障害や聴
覚障害、それに知的障害などの
障害別に、大地震に対するふだ
んからの備えや、実際に地震が
起きたときにどう行動するか
などが記されています。

また避難所での過ごし方や、
周囲の人たちの障害者への介護
の方法なども盛り込まれていま
す。

東京都では今後、きょうまと
まったマニュアルの表現などを
整理したうえで製本し、今年度
中に区市町村や障害者団体など
に配布することになっています。

東京都では視覚障害者の人のた
めに点訳や音声を吹き込んだ
テープも作ることになっています。